

第 16 期 決算公告

神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町二丁目23番地2
神奈川メディカルサービス株式会社
代表取締役 川村 彰

貸借対照表

(2025年3月31日現在)

(単位:円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	7,401,972,513	流動負債	1,551,568,341
現金及び預金	1,763,853,123	買掛金	703,212,502
売掛金	5,634,011,373	短期借入金	558,466,671
前払費用	3,817,712	未払費用	13,197,440
未収入金	290,305	未払法人税等	16,987,500
		未払消費税等	10,831,900
		預り金	248,872,328
		固定負債	4,895,651,964
		長期借入金	4,875,858,422
		繰延税金負債	19,793,542
		負債合計	6,447,220,305
		(純資産の部)	
		株主資本	954,752,208
		資本金	100,000,000
		利益剰余金	854,752,208
		その他利益剰余金	854,752,208
		繰越利益剰余金	854,752,208
		純資産合計	954,752,208
資産合計	7,401,972,513	負債・純資産合計	7,401,972,513

当期純損益

(2024年4月1日から2025年3月31日まで)

(単位:円)

科 目	金 額
当期純利益	59,244,189

個別注記表

(2024年4月1日から2025年3月31日まで)

1. 計算書類の作成基準

会社計算規則第98条第2項第1号を適用して、注記の一部を省略しております。

2. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 収益及び費用の計上基準

施設の維持管理等に係る収益は、建設した設備に関する維持管理業務であり、契約期間に基づき収益を認識しております。

(2) その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

①ヘッジ会計の方法

ア. ヘッジ会計の方法 金利スワップについては、特例処理を採用しております。

イ. ヘッジ手段とヘッジ対象

当期にヘッジ会計を適用したヘッジ手段とヘッジ対象は以下のとおりです。

(i) ヘッジ手段：金利スワップ取引

(ii) ヘッジ対象：借入金

ウ. ヘッジ方針

神奈川県立がんセンター特定事業の初期投資費用にかかる融資額に対して、金利変動のリスクを同事業の期間を通して効果的にヘッジする目的で使用しております。

エ. ヘッジ有効性の評価の方法

金利スワップについては、特例処理適用の判定をもって、有効性の判定に代えております。

3. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 当事業年度末における発行済株式の種類及び株式数

普通株式 2,000 株

(2) 当事業年度末における自己株式の種類及び株式数

該当なし

(3) 当事業年度中に行った剰余金の配当

該当なし

(4) 当事業年度末における新株予約権の目的となる株式の種類及び株式数

該当なし

4. 収益認識に関する注記

収益を理解するための基礎となる情報は「2. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 収益及び費用の計上基準」に記載のとおりです。

以上